

関係各位

京都府病虫害防除所長
(公 印 省 略)

病虫害発生予察情報について

下記のとおり発表しましたので、送付します。

発生予察特殊報第 3 号

病 害 虫 名 ウメシロヒメヨコバイ (仮称)
Singapora shinshana (Matsumura)
作 物 名 ウメ
発 生 地 域 綾部市の一部

1 発生経過

- (1) 令和 2 年 8 月、綾部市内の民家に植栽されたウメの葉を加害するヒメヨコバイ類が確認された。
- (2) 採取した成虫を農林水産省神戸植物防疫所に同定依頼したところ、ヨコバイ科の一種 *Singapora shinshana* (Matsumura) と同定された。
- (3) 本種の発生は、国内ではこれまでに沖縄県、和歌山県¹⁾、徳島県²⁾ 及び埼玉県³⁾ で確認されているが、府内での確認は初めてであり、和名がないことから、当所では「ウメシロヒメヨコバイ (仮称)」とした。

2 形態及び生態

- (1) 成虫の体色は黄緑色で、体長は 3 ~ 3.5 mm。複眼は黒色で、頭頂部に黒点がある⁴⁾ (写真 1、2)。
- (2) 国内での生態は不明である。本種は中国、台湾、韓国および北朝鮮で発生が確認されている。本種はウメ、モモ、ナシ、リンゴ等のバラ科果樹の他、サンザシ、ポポー、ポプラ等を加害することが報告されている。

3 被害の特徴

成虫 (写真 3) および幼虫 (写真 4、5) が葉を加害する。被害葉の裏側に幼虫の脱皮殻が付着する (写真 6)。多数の細かい吸汁痕により、葉の表面が白っぽく見える (写真 7)。吸汁された葉は、落葉することがある (写真 8)。

4 防除対策

- (1) 令和 2 年 1 0 月 2 1 日現在、本種に対して適用のある農薬はない。
- (2) 被害葉の早期発見に努め、発見した場合は速やかに被害葉を除去し適切に処分する。



写真1 ウメシロヒメヨコバイ成虫
(体長3~3.5 mm)



写真2 成虫の頭部（頭頂部の黒点）



写真3 ウメ葉裏の成虫（京都府生物資源研究センター提供）



写真4 ウメ葉裏の幼虫



写真5 幼虫



写真6 ウメの葉裏に付着した脱皮殻



写真7 ウメの被害葉



写真8 ウメの被害株（京都府生物資源研究センター提供）

<参考文献>

- 1) 和歌山県農作物病虫害防除所(2019)、令和元年度病虫害発生予察特殊報第4号
- 2) 徳島県立農林水産総合技術支援センター病虫害防除所(2020)、令和2年度農作物病虫害発生予察特殊報第1号
- 3) 埼玉県病虫害防除所(2020)、令和2年度病虫害発生予察特殊報第3号
- 4) Cao, Y., Zhang, Y. (2013) Revision of a common erythroneurine pest occurring on peach trees in China (Hemiptera: Cicadellidae: Typhlocybinae)